

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 19 条第 1 項に基づく報告書（排出事業者用）

＊不明点等は、「質問事項欄」へ記入ください。産業廃棄物の場合、所管する埼玉県からの回答となります。

事業者の 情報	事業者	●●● 株式会社		担当者	●●●課 ▼▼		記入例
	所在地	▲▲▲市町●●●●					
	連絡先	電話番号： ●●●-●●● Fax： ●●●-●●● メールアドレス： ●●@●●●●					
原因の 理解	事業者記入日	令和●年●月●日		内容	令和●年●月●日に、(産業廃棄物の廃プラ)の混入		
	区分	確認事項 ○・×を記入 ➡			○×	詳細	
	理解	事業活動による「事業系一般廃棄物」と「産業廃棄物」の違いを理解しているか。			○	年 1 回、新入社員に教育を実施	
		従業員へ「事業系一般廃棄物」と「産業廃棄物」の違いを周知・理解させているか。(周知方法を記載)			×	周知方法：入社時 1 回の教育のみで、長年勤める従業員向けに勉強会を実施していなかった	
	契約	一般廃棄物収集運搬業許可業者と、契約しているか			○	契約先：●●●株式会社	
		産業廃棄物収集運搬業許可業者と、契約しているか			○	契約先：●●●●●●株式会社	
	分別・ 保管	廃棄物（一般・産業）の保管場所に囲いと掲示があるか			×	掲示がない。収集事業者と打合せをしたことがなかった。従業員と収集事業者が、理解していない状態だった	
		可燃、不燃等を品目別に保管しているか			×	同上	
		資源物をリサイクルしているか (ない場合は、空欄)		品目： 段ボールは、●●業者に引取りを依頼している 紙類は、●●●●業者に引取りを依頼している			
	混入の 原因	1. 従業員に一般廃棄物と産業廃棄物の違いを教育させてなかったため 2. 廃棄物の排出・分別・保管場所に大きな掲示がなく、誤った混入や収集がされやすい状態だった 3. 問題を認識しておらず、収集事業者と話し合う機会がなく、気づくことができなかった。					
今後の 再発防止 方法 (場所ごとに記入)	再発防止実施前後の写真は、別添様式で報告する。						
	事務所	・委託先の一般廃棄物収集運搬事業者と産業廃棄物収集運搬事業者と会議をして、再発防止に努めた ・全従業員を対象に、年 1 回の講習を実施する					
	作業所	・作業所内に、廃棄物分類のマニュアルを常設した					
	従業員	・作業工程ごとに、廃棄物責任者を決め、管理を行う					
	廃棄物等 保管場所	屋内	・一般廃棄物と産業廃棄物の保管場所を建物別で分け、A2 サイズの掲示を設けた (別添 1 変更前後の写真のとおり)				
屋外		・収集事業者向けに、 A2 サイズの掲示を設けた (別添 2 変更前後の写真のとおり)					
質問事項	・今後、新規事業で排出される産業廃棄物の適切な廃棄方法や調べ方を知りたいので、県へ繋いでほしい。						

別添 再発防止策の前後の写真		※改善箇所ごとに、提出
改善前	記入例 改善前の写真	
改善前	改善後の写真	